

第4回瀬戸内海文明圏建築シンポジウム

瀬戸内

ニューライフスタイル

仕事、住まい、移住、エネルギー

■日時：2018年11月25日（日）13:00-17:50

■会場：神戸大学出光ホール（出光佐三記念六甲台講堂）



基調講演者・建築家

伊東 豊雄 氏

Toyo Ito

建築家。1941年生まれ。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に、せんだいメディアテーク、TOD'S表参道ビル、多摩美術大学図書館（八王子キャンパス）、2009高雄ワールドゲームズメインスタジアム（台湾）、今治市伊東豊雄建築ミュージアム、ぎふメディアコスモス（岐阜県）等。日本建築学会賞作品賞、ベネチア・ビエンナーレ「金獅子賞（パビリオン賞）」、王立英国建築家協会（RIBA）ロイヤルゴールドメダル、朝日賞、高松宮殿下記念世界文化賞など受賞。2013年、建築界のノーベル賞といわれるプリツカー建築賞を受賞。

2018年10月、文化功労者に選ばれました。

講演・パネリスト



古谷 誠章

早稲田大学教授

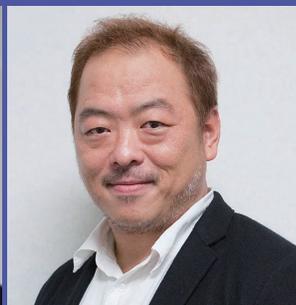
日本建築学会会長（第55代）



坂東 幸輔

京都市立芸術大学講師

坂東幸輔建築設計事務所主宰



槻橋 修

神戸大学大学院工学研究科

建築学専攻准教授

講演タイトル

- ①伊東豊雄 基調講演「明日の暮らしを瀬戸内から発信する」
- ②古谷誠章 講演「四国から見た瀬戸内、本州から見た瀬戸内」
- ③坂東幸輔 講演「徳島県神山町での空き家再生まちづくり」
- ④槻橋修 講演「神戸における新しいライフスタイルの挑戦」

コンセプト

「瀬戸内海文明圏・建築シンポジウム」は、建築の歴史や意匠の素晴らしさと新たな地域性創造につながる「これからの建築」を語り合う場として、第1回尾道、第2回福岡、第3回香川と連続開催し好評を博してまいりました。

神戸では、特別顧問 伊東豊雄氏の基調講演と建築家 古谷誠章氏、坂東幸輔氏、槻橋修氏による、瀬戸内海を中心とした近作や活動を語っていただきます。

また広島大学大学院 修士2名による研究発表も行います。

「これからの建築とライフスタイル」について「これからの建築」を目指す若人に大いに参考になるパネルディスカッションです。奮ってご参加ください。

会場アクセス

住所：兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学

- ・阪急「六甲」駅から徒歩20分
- ・バス（阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から神戸市バス36系統鶴甲団地行、鶴甲2丁目止まり行き乗車「神大正門前」下車）
- ・タクシー
阪神「御影」駅より約15～20分、JR「六甲道」駅より約10～15分
阪急「六甲」駅より約5～10分

コンタクト

広島大学 岡河研究室
広島大学大学院工学研究学科
建築設計学研究室

Tel.090-7374-2618

株式会社総合資格／総合資格学院
本社 学校法人部 教育企画担当／
Architekton編集局 担当：水野 高寿
Tel.03-3340-2810

参加無料

申し込みは下記から



主催：AISU（Architectural Institute of Setouchi Union）
瀬戸内海文明圏「これからの建築と新たな地域性」創造研究会
共催：神戸大学減災デザインセンター（CResD）

後援：総合資格学院

www.shikaku.co.jp